R3 Ⅰ ニ

教材名
【東書】町の未来をえがこう 【光村】今、私は、ぼくは
組
番
氏名

1

上野さんの学級では、興味をもった人物について調べ、スピーチで紹介し合うことにしました。上野さんは、津田梅子について調べ、メモをもとに資料を画面に映しながらスピーチの練習をしています。次は、上野さんの【スピーチメモ】、【スピーチ】、〈資料①〉から〈資料④〉です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

［はじめ］
○話題の提示　〈資料①〉
・新五千円札の「顔」
・津田さんの説明
［中］
○津田さんの業績
・業績1　〈資料②〉
女子英学塾を設立
・業績2　〈資料③、④〉
女性の英語教師を育成
［終わり］
○自分の感想

【スピーチ】

〈資料①〉を示す）みなさん、これを見てください。今度新しい五千円札の「顔」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力をつくした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間、アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになります。津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の実現を目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

〈資料②〉を示す）一つは、「女子英学塾」を設立したことです。津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇〇年、三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾で、今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるこのような学校がほとんどありませんでした。

〈資料③〉を示す）もう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したことです。女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかかげていました。津田さんは、授業の中で、よく学生たちと英語で議論を交わしました。学生がどんな意見を言っても批判することはありませんでしたが、はっきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。

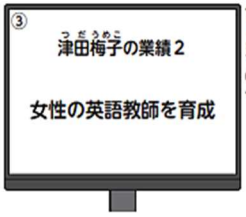
〈資料④〉を示す）この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思います。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「顔」となることにつながったのだと思いました。

〈資料①〉

〈資料②〉

〈資料③〉



〈資料④〉

ニ　上野さんが、【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　難しい言葉の意味を示すことで、聞き手に正確に理解してもらうため。
2　自分の疑問点を示すことで、聞き手にもいっしょに考えてもらうため。
3　スピーチでは話さない情報を示すことで、聞き手に新たな興味をもってもらうため。
4　特に伝えたいことの要点をまとめて示すことで、聞き手の理解を助けるため。

正答率：75.0%

4